

市長所信表明



田岡克介市長は、6月15日(金)、「平成19年第2回石狩市議会定例会」において所信表明を行いました。今回は、その内容について皆さんにお伝えします。

「市政運営へ決意新たに」

平成19年第2回石狩市議会定例会の開会にあたり、今後、4年間の市政運営に臨む所信を申し上げます。

2村との合併後、新生石狩市が誕生して、初の市長選挙は凶らずも無投票でありましたが、このことは決して私への白紙委任とは考えていません。市政の課題が山積する今こそ、全市が一丸となつて難局を乗り越え、後世に誇れるまちを築き上げるこ

●進む地方分権

国内の経済情勢は、バブル期に積み上がった負の遺産の処理が進み、息の長い景気回復が続いていますが、人口減少への対処、格差是正、厳しい財政状況などの課題が顕著に現れ、今後数年間のうちに社会の在り方をも含む抜本的な対処が迫られています。

地方にとつても、この期間は財政面でのアカウンタビリティ向上、制度的・財政的な国の関与からの脱却、道州制議論を通しての国と地方の役割の再配分など、大掛かりな改革が進むことは明らかです。

これらの状況を踏まえて、この石狩を顧みるとき、今まさに「まちの強み」を伸ばす、その時ではないかと感じるところです。今後数年で地方分権が進み、地方自治体の護送船団体制も解体されるでしょう。そうした後も、本市が自律的に発展できるように、地域の価値を生かしてまちの強みを大いに伸ばし、石狩市なら

「へまちの強み」を伸ばす、
今はまさにその時」



ではの魅力を生み出さなければなりません。

●ピンチをチャンスに

現在、本市はあらゆる分野でまさに正念場を迎えています。中長期の将来を見据えて「成熟都市」への戦略を定め、重点投資により限られた経営資源を最大限有効に活用する視点を確立できれば、財政危機というピンチをチャンスに変えることが

「可能であります。さらにこのチャンスを生かすためには、スピード感を持って、敢然と課題に取り組み、あるいは市役所の仕事のあり方を切り替えていくことが欠かせません。」

「いずれにせよ「入るを量りて、出づるを制す」の財政運営を基本としながらも、さらに二歩踏み込んだ地域経営を目指し、民間経営の理念と手法などをできるだけ取り入れ、市民の満足度の向上に向け、より効率的な行政

「市民との協働を

さらに確固たるものに」

次に、こうした基本方針に基づき、これからの4年間で特に力を注ぐ主な施策の概要について申し上げます。

戦略目標① 子育て施策の充実

明日の石狩を担う子どもたちの健やかな成長、さらには子育て世代の市内への呼び込みも視野に入れ、10年後・15年後を見据えたまちづくりの戦略として「子育て」に力を注ぎます。

運営を行うとともに、周辺都市と連携し広域的な諸課題にも積極的に取り組んでいきます。

私は過去8年間で、市民参加と積極的な情報公開などを基調に市政運営に当たってきましたが、今後もこの基本姿勢を堅持しながら、さらに多様な形の市民参加、さらに分かりやすい情報提供などを通し、地域経営に関する理念と情報を市民と共有しながら、諸課題に真面向から挑む決意です。

具体的対応

- ① 保育園施設の充実による待機児童ゼロの実現
- ② 子育て家庭の多様なニーズに応える支援サービスの充実
- ③ 乳幼児医療費の就学前原則無料化
- ④ 学校でのいじめの早期発見と適確な対応への体制整備
- ⑤ 学校施設の計画的な改修
- ⑥ 地域の子育てを総合的に支援する体制づくり



戦略目標② 新たな地域価値の掘り起こし

本市が時代の転換期を乗り越え、さらに30年後の発展をつかむためには、長期的な視点を持ちながら21世紀にふさわしい新たな地域価値を創出しなければなりません。

具体的対応

- ① 自然・歴史・食資源などを大切にしながら地域が潤う、オンラインワン観光の推進

- ② 花川北団地の再活性化へ向けられた規制緩和や域内通行のバリアフリー化
- ③ 200ヘクタールの森林公園「ふるさとの森・100年構想」の推進
- ④ インターネットブロードバンドサービス環境の改善

戦略目標③ 市内経済の活性化と新港の強みを生かしたまちづくり

「いしかり再生」のために、本市の最大の強みである石狩湾新港地域のさらなるパワーアップなどから、市内の経済を活性化し、市民が能力に応じて地域で元気に活躍できる環境を整え、豊かで活気のあるまちをつくりまします。

具体的対応

- ① エネルギー・リサイクル・物流などターゲットを絞った戦略で、4年間で40社の企業誘致
- ② 石狩産の優れた農水産物を加工し付加価値を高め、新港地域発のルートで販路拡大
- ③ 障がい者が地域で自立して活躍できる環境整備
- ④ 市民が退職後も意欲に応じて活躍できる場づくり